

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 R7年11月12日				
Yくまーず未来 春日井next (第1単位)						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		基準となる人員以上と専門職員を配置している。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		駐車場からエレベーターまでは階段があるが、それ以外については段差がない形にはなっている。	段差などについてはバリアフリーになっているが、通路の幅については一部角を曲がる時にスムーズにいかない場所もある	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			放課後等デイサービスの部屋が1フロアしかないので、クールダウンしたい時に個別で過ごせる場所がない。 現状は、個別の場合には離れた場所で行うやなどしている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1		振り返りに課題がある。振り返りはして、改善がなかなか進まないこともある。今後は、もう少し詳細に振り返りをして改善をしていきたい	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			年に1回は行っているが、今後半年に1回など頻度を増やしてもいいかもしれない	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			管理者に対してはなかなか話しづらいこともあるため、管理者が話しやすい雰囲気作りを行っていきたい	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		現状は行っていないが、本社の人が書類などの確認は行ってくれている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	法人全体で定期的に合同の研修を行っている。	平日の昼間などの研修に行きたくとも人員配置からいけないこともある。今後は行けるように人員配置なども考えていきたい	
その他	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」全てを取り入れた内容にしている。	計画書内では、取り入れているが「地域支援・地域連携」は現状行っていないことが多いため今度連携を行ってきたい	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		毎月全員が決められた内容、活動の個数を出し合って決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		毎月全員が決められた内容、活動の個数を出し合って決めている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		活動内容に応じて集団または個別で考えて行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日、朝礼を行い当日の予定や支援の内容、配慮・注意する点を共有している。また、前日の様子についても共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		翌日の朝に朝礼を行うため、簡単ではあるがその日の様子や突起事項については共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		保護者向けの活動記録の他に職員間での記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		最低限の6ヶ月のモニタリングの他に、内容などを見て時期を早めることもしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		おやつを基本的に決められた金額内の中で自己にて決めてもらうようにしている。また、活動内容によっては選択してもらう内容を取りいれている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		基本的には児童発達支援管理責任者が参加するが、日程等によっては他の職員も参加している。また、参加できない場合は職員間で話し合いの場を設けて情報を集約してから参加するようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		定期的に行っている児童もいれば、必要な時に行くこともある。事業所側から提案し場を設けてもらうこともしている。	学年が大きい児童に関しては、改めて就学前に利用した保育園や幼稚園などに情報を求めるという機会はある。必要な時には行っていきたい
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		今まで卒業した児童が少ないため機会がほぼなかった
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		機会がなかったが、今後取り入れることも行っていきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時に行っている。 また、送迎時以外でも必要があれば電話やLINE等で情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		機会がなかったが、今後取り入れることも行っていきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明をしている。また、内容の変更があれば随時お知らせを行っている。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			子どもの意思を聞くことに難しさがある。また、保護者と子どもの意見が分かれた時にどうするかが今後の課題になってくる
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		要望があれば随時行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		保護者会の他、親子遠足や家族参加型のお祭りなどを毎年行っている。	保護者会の頻度を増やしていくことも検討していきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月活動内容を発行している。また、季節的に必要な内容については通信などにまとめて発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		毎年のハロウィンの練り歩きでは、近隣の店舗などに協力をもらい関わりを持っているが、招くことはしていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		法人内の訪問看護の職員に研修を開いてもらうなどして知識向上に努めている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		法人内で定期的に研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			